

常任委員会行政視察報告

文教民生委員会

◆視察月日 7月6日～8日

◆視察市 東京都国分寺市

静岡県富士宮市

◆視察項目

- ・特別支援教育の取り組み
- ・子ども家庭支援センター
- ・福祉総合相談システム
- ・歩く博物館

特別支援教育の取り組み

国分寺市の特別支援教育の取り組みは、従来の心身障害教育の対象の障害だけでなく、通常の学級に在籍する学習障害・注意欠陥多動性障害・高機能自閉症等を含め、特別な支援が必要な児童生徒等の教育を推進するため、平成20年度に個別の教育支援計画を策定し、必要に応じて、各小中学校に設置してある特別支援教室を活用し、支援の充実を図っている。また、児童生徒が都立特別支援学校の小中部部に在籍している場合は、居住する地域の小中学校に副次的な籍（副籍）を置き、本人や保護者が学校行事や地域行事に参加するなど、直接的・間接的な交流を通じて、その地域や同世代の子供たちとのよりよい関係づくりに向け取り組んでいる。

福祉総合相談システム

富士宮市の福祉総合相談システムは、多様化・高度化した福祉ニーズに対応するため、地域包括支援センターにワンストップの総合相談窓口を設置し、関係機関と連携しながら、支援の必要な人に適切な支援をスムーズに行うものである。それとともに、自治会支部単位で地域の支援窓口をつくり、地域の問題・相談を地域単位に設置している支援センターに報告し、その報告を受けて地域包括支援センターに連絡するなどといった地域福祉ネットワークも構築している。このように市と各関係機関や地域との横のつながりを強め、目標や課題点を共有することにより、一人ひとりが適切な支援を行えるように、また一体的な支援ができるよう取り組みを進めている。

（針金）



国分寺市役所前にて

環境産業委員会

◆視察月日 8月3日～5日

◆視察市 北海道千歳市

北海道滝川市

◆視察項目

- ・グリーン・ツーリズム
- ・農業担い手育成・確保の取り組み
- ・滝川市地域公共交通総合連携計画の取り組み
- ・総合交流ターミナルたきかわ

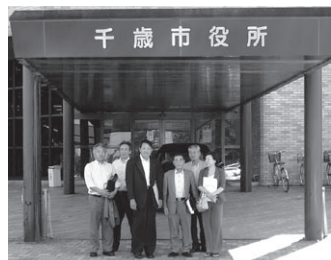
グリーン・ツーリズム

千歳市は、農用地が市の総面積の13%を占め、全産業人口の3・22%が1次産業就業者である。また、1戸当たりの平均面積が18ヘクタールで大規模経営であるが、農家数が過去10年間で3分の2まで減少している。

平成14年の制度改正により、グリーン・ツーリズム関連施設が都市計画法上の開発許可対象となり、17年に整備計画を策定したが、整備が進まなかったことから助成制度を創設した。その結果、農家レストランや農産物直売加工施設など4件が整備された。

平成17年12月には千歳市グリーン・ツーリズム連絡協議会が設立され、地域や業種を超えた30団体が精力的に活動している。農業体験型学旅行の受け入れは高い評価を受け、22年度も7校の実績があり、協議会ではファームインファームステイに向けた簡易宿泊の資格取得に係る学習

会等も実施し、施設整備を促進している。



千歳市役所前にて

滝川市地域公共交通総合連携計画

滝川市は古くからの商業都市で、公共バスが市内3路線、周辺の町へ7路線運行しているが、利用減少が続いており、高齢者の足の確保、農村部のバス空白地域への対応が課題であった。

平成20年3月に地域公共交通活性化協議会を設置し連携計画を策定、21年度から市内循環バス実証運行事業を開始した。市中心部にバス停3カ所や空き店舗を活用した待合所を新設し、買物客の利用時間に合わせ、午前10時から午後6時まで既存のバス路線を休止し、巡回バスを1日8便、2方向で計16便運行している。

また、お得なサービスを受けられる「バストクトクサービスカード」をバス内に設置し、その協力店を5店から28店にふやしたり、実際にバスを運び入れる乗車体験事業を開催する小学校をふやすなど、さまざまな方法でバス利用促進を図っている。

（穴山）